

第 2 次

和気町総合計画

人と地域が輝く 晴れの国の 和気あいあいのまち

- 基本構想（2021～2030）
- 前期基本計画（2021～2025）
（第 2 期和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略）

“人と地域が輝く 晴れの国の 和気あいあいのまち”

を目指して

今日の地方自治体を取り巻く状況は、地方分権が進む一方、急速な人口減少と少子超高齢社会の到来という歴史的な転換点に直面しています。

和気町においても、合併から15年が経過し、環境が大きく変化しています。

頻発する大規模自然災害や、新型コロナウイルスの世界席卷など、社会不安が増幅する中、“安全・安心”を基調としつつ、人口減少や少子高齢化を乗り越え、住み心地の良い、あまねく人と地域が輝くまちを全力で作り上げていくため、この「第2次和気町総合計画」をまとめたところです。

明るい兆しとして、ここ数年、子育て世代を中心とした移住者による人口増が続き、社会増減ではプラスになるなど、移住定住施策が功を奏している面も見られます。

町としては、こうした一筋の光を糧として、若年層の定住をさらに促し、人口構成のバランスのとれた、活気にあふれた持続可能なまちづくりを、機を逸することなく推進していく所存でございます。

一方、「第1次和気町総合振興計画」策定時の予想よりも人口減少が早まってきているとともに、結婚や出産を機に若い人々が他の都市に転出する傾向が見られ、未来を担う若年世代の減少傾向が、今後さらに進むことも懸念されるところです。

私たちのまちは、幸いにも、山紫水明の豊かな自然と、先人たちが育み、大切に守ってきた文化や伝統とともに、多彩な人財や資源を有しています。

これからの和気町が輝かしい未来へと発展するように、この地域の貴重な資源を最大限活用させていただきながら、町民の皆様と共に手を携え、新たなまちづくりを進めていく所存ですので、計画の実現に向けて、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、終始熱心にご審議を賜りました審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆様ならびに、関係各位に心から感謝申し上げますとともに、今後も、引き続き町政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3(2021)年3月



和気町長 草加信義



町花「藤(フジ)」

和気町には、種類の多さ日本一を誇る藤公園があり、全国的にも知られ、和気町のイメージとして定着しています。また、藤は生命力豊かで、町の発展を願うにふさわしい花であることから町の花に決定しました。



町木「桜(さくら)」

和気町には、芳嵐園、吉井川河川公園、旧片上鉄道天瀬駅など、桜の名所が多数あります。また、日本を代表する植物であり、古くから町民にも愛され、親しまれてきたことから、町の木に決定しました。



町鳥「タンチョウ」

和気町には、国の天然記念物であるタンチョウの人工飼育を行っている岡山県自然保護センターがあり、飼育数では日本一を誇っています。また、古くから端鳥(めでたい鳥)といわれ、優雅に美しく飛ぶ姿は、町内外からの来場者を楽しませており、町を代表する鳥として町の鳥に決定しました。

和気町町民憲章

わたしたちは、歴史と伝統文化が薫る和気の町民であることに誇りをもち、町民一人ひとりがお互いの幸せを願い、元気に笑顔で楽しく過ごせるまち「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感できるまちをめざし、ここに町民憲章を制定します。

- Ⅰ 自然を大切にし、環境にやさしい、美しいまちをつくります。
- Ⅰ 教養を高め、知性を磨き、薫り高い文化のまちをつくります。
- Ⅰ スポーツに親しみ、心身ともに健康で楽しいまちをつくります。
- Ⅰ 人権を尊重し、お互いを思いやり、和を尊ぶまちをつくります。
- Ⅰ 希望と未来を語り合い、共助と協働のまちをつくります。
- Ⅰ 働く喜びをもち、地域の産業を活かして活力のあるまちをつくります。

< 目 次 >

第1部 序論	1
第1章 第2次総合計画の枠組み	2
1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の位置づけ	2
(1) 和気町の最上位計画	2
(2) 「第2期和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した計画	2
3. 計画の構成と期間	3
(1) 構成	3
(2) 期間	3
4. 計画の特徴	4
第2章 計画策定の背景	5
1. 和気町の概況(位置、地勢、特徴、周辺との関係性)	5
(1) 位置・地勢	5
(2) 沿革	5
(3) 人口の推移	6
2. 社会の潮流	7
(1) 安全・安心な社会の希求	7
(2) 人口急減・超高齢社会への対応	7
(3) 経済財政状況の変化	7
(4) Society5.0(超スマート社会)で実現する社会	8
(5) インフラ・公共施設の老朽化	8
(6) 世界共通の目標SDGsの推進	9
3. 町民の意識からみえる課題の整理	10
(1) 施策別の重要度と満足度(地方創生に関するアンケートから)	10
(2) 移住者による和気町の評価(移住者アンケートから)	12
(3) ワークショップ意見	13
4. 第2次総合計画で解決すべき町の課題	16
(1) いのちと暮らしを守る安全・安心への備え	16
(2) 人口減少、少子超高齢社会への対応	16
(3) 若者と子育て世代への支援	16
(4) 健康寿命の延伸と健康意識の高まり	16
(5) 公共施設の統廃合とインフラの長寿命化	17
(6) 農林業・農山村を取り巻く環境の変化	17
(7) 地域共生意識の醸成	17
第2部 基本構想	19
第1章 基本理念	20
第2章 将来像	21
第3章 将来人口	22

第4章 和気町の未来の姿	23
1. 全体像	23
2. ひと	23
(1) 子ども	23
(2) 子育て世代	24
(3) 高齢者	24
3. 暮らし・まちの様子	24
(1) 暮らし	24
(2) まち	25
第5章 財政の見通し・土地利用の基本方針	26
1. 財政の見通し	26
2. 土地利用の基本方針	27
(1) 土地利用の基本的な考え方	27
(2) 土地利用の基本方針	27
第6章 “人と地域が輝く”まちづくりの柱(施策の大綱)	29
基本目標1 安全・安心でやすらぎを実感できるまち【暮らし安全・環境】	29
基本目標2 変化の時代を生き抜く力を育み、共に学び続けるまち【教育・文化】	29
基本目標3 だれもが健康ではつらつと暮らせるまち【子育て・保健・福祉】	30
基本目標4 認め合い、支え合い、笑顔あふれる共生のまち【人権・協働】	30
基本目標5 美しい自然と調和した快適で豊かなまち【都市・生活基盤】	30
基本目標6 交流が生まれ、活力に満ちたまち【産業振興・交流】	31
基本目標7 人口減少社会に対応した、効率的で持続可能な行財政運営【自治体運営】	31
第7章 計画推進の基本姿勢	32
1. 持続可能な行政経営(施策、事業の選択と集中)	32
2. 参画と協働のまちづくりの推進	32
3. 総合計画の進行管理について	33
第3部 人口ビジョン	35
第1章 人口ビジョンの位置づけ	36
第2章 人口の現状分析	37
1. 人口の動向	37
(1) 総人口の推移	37
(2) 年齢3区分別の人口推移	40
2. 将来人口に影響を与える要因の分析	42
(1) 自然増減	42
(2) 未婚化の進行	43
(3) 合計特殊出生率の推移	44
(4) 社会増減	46
(5) 人口移動の状況	47
(6) 産業別の従業者構造	51

第3章 目指すべき将来の方向	52
1. 住民の意識・希望に関する調査結果	52
(1) 町民アンケートの結果	52
2. 目指すべき将来の方向	53
(1) 基本的な考え方	53
(2) 施策の方向性	54
3. 人口の将来展望	55
(1) 将来の人口展望	55
(2) 和気町が目指す人口目標	60
第4部 前期基本計画(第2期和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略)	63
第1章 計画策定の趣旨	64
第2章 構成	64
第3章 計画期間	65
第4章 政策・施策の体系	66
1. 政策、施策の考え方	66
2. 体系	66
第5章 リーディングプロジェクト まち・ひと・しごと創生総合戦略	68
1. これまでの取組の効果の検証	68
2. 総合戦略の計画期間	69
3. 人口減少の状況	69
4. 総合戦略が目指すまちの姿	69
第6章 分野別基本計画の見方	73
第7章 分野別基本計画	75
基本目標1 安全・安心でやすらぎを実感できるまち【暮らし安全・環境】	75
基本目標2 変化の時代を生き抜く力を育み、共に学び続けるまち【教育・文化】	95
基本目標3 だれもが健康ではつらつと暮らせるまち【子育て・保健・福祉】	107
基本目標4 認め合い、支え合い、笑顔あふれる共生のまち【人権・協働】	127
基本目標5 美しい自然と調和した快適で豊かなまち【都市・生活基盤】	135
基本目標6 交流が生まれ、活力に満ちたまち【産業振興・交流】	153
基本目標7 人口減少社会に対応した、効率的で持続可能な行財政運営【自治体運営】	167
第8章 長期財政見通し	180
第5部 資料編	185
1. 計画策定の経過、審議会開催状況	186
2. 振興計画審議会委員名簿	187
3. 諮問・答申書	188
4. 審議会委員メッセージ	190
5. 用語解説	191
6. 関係条例・規則	196
7. パブリックコメント	198